

# ふれあい つながり かわら版

## 『姫路市小中一貫教育 つながりカリキュラム』

(令和2年3月発行)

『つながりカリキュラム』は、現在、教育委員会で

作成中の冊子の名称です。  
各ブロックにおいては、この冊子を活用し、2  
年後の令和3年度末までに、9年間を貫く特色  
ある教育課程を整理した『ブランドカリキュ  
ラム』を作成します。



今回のかわら版では、冊子「つながりカリキュ  
ラム」の内容を示しながら、ブランドカリキュラム作成  
の意義を説明します。

## ブランドカリキュラムモデルプラン

冊子には、モデルプランを  
掲載しています。協力プロッ  
クは、「**広嶺中学校プロッ  
ク**」、「**白鷺小中学校**」、  
「**四郷学院**」、「**豊富中学  
校**」です。



## 身に付く力

## 広嶺中学校ブロック ブランドカリキュラム

カリキュラムの形式はブ  
ロックにより様々ですが、「**目指す子供像**」の具現化  
に向けて、「**身に付く力**」を  
設定し、そのために効果的な  
「**単元等の配列**」をしてい  
る点は共通しています。

## なぜ、今、ブランドカリキュラムが必要なのか？

### ① 予測困難な社会の変化

私たちが小学校の時に暗記した知識は、これからも  
そのままである確証はどこにもありません。また、現  
在のスマートフォンは手の平に収まるサイズで、通話  
にとどまらず、分からないことがあれば気軽に情報を  
検索し、手に入れることができます。現在、「知識」自  
体の意味や扱い方が変わろうとしています。今、私た  
ちはかつてないほどの大きな社会の変革期を生きてい  
ます。

### ② 未来を切り拓く子供たちに必要な力

このような急激な変化が進む中で、未来を切り拓く  
子供たちには、複雑で不確かな世界を豊かな創造性を  
発揮しながら歩いていく力が必要です。このような時  
代においては、「何を知っているか」という知識だけで  
は不十分です。知識を使って  
「何ができるようにするか」と  
いう資質・能力がますます重要  
になります。教育者である私た  
ちは、子供たちがこれからのど  
ような時代を生きていくのか  
を見すえ、どういう人になって欲  
しいか(『**目指す子供像**』)に思  
いを込め、どういった資質・能力を  
育むのか(『**身に付く力**』)を真  
剣に考える必要があります。

姫路市教育委員会  
学校指導課  
小中一貫教育推進係  
(079)221-2120



### ③ 保護者・地域住民との協働

ブロックで設定した資質・能力は、社会に出た時に  
突然発揮できるようになるものではありません。学校  
における学習を含め、生活全体を通して発揮し続けて  
いく必要があります。そのためには、学習者を教師や  
仲間、家族や地域の人々などの他者が支える双方向的  
で互恵的な協力関係が必要となります。

これらのことから、子供だけでなく、学校の教職  
員、保護者や地域住民を含む誰もが「**学びの地図**」を  
共有する共同学習者であるという考え方に立ち、  
『**ブランドカリキュラム**』が必要であると考  
えました。

子供の実態や教師のニーズに応じた、  
特色あるカリキュラムの作成に、多くの  
教師が携わり、子供の9年間の学び  
が豊かになることを期待しています。

「つながりカリキュラム」は、「何ができるように  
なるか」という資質・能力の育成について教科等  
横断的な視点でブランドカリキュラムを作成する  
方法を市全体で共有するための冊子です。

冊子に関して、かわら版  
(本号)に加え、「つながり  
カリキュラム抜粋版(一章  
二章)」と「冊子説明用プレ  
ゼンテーション」を掲示板  
「学校指導課からのお知らせ」  
に掲載しますので参  
考にしてください。

作成の手順などに  
つきましては、小中一  
貫教育担当者会や  
「かわら版」などを通  
じて、引き続きお知  
らせていきます。

## ブランドカリキュラム作成の手順

